

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>静内・三石 （北海道） （静内町、三石町）</p> <p>{ 区間 }</p> <p>平成 8 年着工 全長 29.3km 開設 31 % 改良 69 % 完成 3.8km 進捗率 13 %</p> <p>{ 路線全体 }</p> <p>区間数 6 うち完成 2 全長 82.5km 完成 21.0km 進捗率 25 %</p>	<p>関係町は、豊富な森林資源を有し、事業量（伐採、造林）が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は 25 % であり、また、事業量（更新、保育、間伐）は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は 2 あり、うち 1 は 4 町にまたがる広域組合、あと 1 も平成 14 年度に合併し 2 町にまたがる広域組合化する予定で労働力等を広域で活用する。</p>	<p>近隣の浦河町、静内町からの所要時間が短縮され、森林の総合利用施設の利用者増が期待される。</p>	<p>海沿いの国道を補完し、山岳部での連絡を容易にすることで、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>コンクリート二次製品の L 型よう壁の採用、タイヤローラーや 32 トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期短縮を図っている。</p>	<p>環境アセスメント調査の結果、オオタカ、ハイタカ及びクマタカの飛翔が確認されている。</p> <p>クマタカ等については、引き続きモニタリング調査を行い、工事実施時期等について措置を講じている。</p> <p>クマゲラについては、大径木等の残存に配慮するとともに、工事の実施に先立ち生息調査を行っている。</p> <p>エゾサンショウウオについては、移動を妨げないよう橋梁等で渡河することとしている。</p>	<p>地域林業の振興、地域産業の活性化、森林レクリエーションのための入込みの増加、災害時の迂回路の効果期待されることから、北海道、関係町及び受益者は、事業推進を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
静内・三石	引き続き猛禽類のモニタリング調査に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>葛巻・浄法寺 （岩手県） （葛巻町、一戸町、浄法寺町）</p> <p>{ 区間 }</p> <p>平成8年着工 全長 35.0km 開設 61%改良 39% 完成 3.4km 進捗率 10%</p> <p>{ 路線全体 }</p> <p>区間数 2 うち完成 0 全長 76.4km 完成 24.0km 進捗率 31%</p>	<p>関係町は、豊富な森林資源を有し、事業量（伐採、造林）が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は52%であり、また、事業量（更新、間伐）は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は3あり、うち2はそれぞれ3市町、2町にまたがる広域組合で、労働力等を広域で活用する。</p>	<p>葛巻町の平庭高原を中心とした森林の総合利用構想の中で主要なアクセス道として位置付けられている。</p> <p>葛巻町、一戸町の関係集落から町中心部へ向かう上で利便性が高まり、また、葛巻町垂柳地区と一戸町平糠地区の交流が盛んになると期待される。</p>	<p>南北に通過する当地域の国道、県道を当区間が東西に連絡し、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>アスファルト再生合材の使用、U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや32トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期短縮等を図っている。</p>	<p>県立自然公園（第3種特別地域）内を一部通過する。</p> <p>環境アセスメント調査の結果、オオタカ、クマタカ、ハイタカ等の飛翔が確認されており、当該箇所周辺における工事着手に先立ち、モニタリング調査等を実施することとしている。</p> <p>沈砂池の設置による濁水の流出防止、緑化工を主体としたのり面保護工による早期緑化に努めている。</p>	<p>林業振興、畜産振興、森林空間の活用、近隣町村への連絡道としての利用の効果が期待されることから、岩手県、関係町及び受益者は、早期完成を要望している。</p> <p>葛巻町は、馬場地区から小田地区間について、付近の町道の改良整備計画が具体化したことから、公道利用として代替し、区間全体の早期完成を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
葛巻・浄法寺	猛禽類のモニタリング調査等に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>浄法寺・田子 （青森・岩手県） （田子町、浄法寺町）</p> <p>{ 区間 } 平成3年着工 全長 41.4km 開設 90%改良 10% 完成 20.6km 進捗率 50%</p> <p>{ 路線全体 } 区間数 2 うち完成 0 全長 76.4km 完成 24.0km 進捗率 31%</p>	<p>関係町は、豊富な森林資源を有し、事業量（伐採、造林）が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は67%であり、また、事業量（間伐）は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は2あり、うち1は2町にまたがる広域組合、あと1も平成14年度に合併し8市町村にまたがる広域組合化する予定で、労働力等を広域で活用する。</p>	<p>浄法寺町内の森林総合利用施設への青森県側からのアクセスや、田子町内の同種施設への南側からのアクセスが容易になる。</p> <p>浄法寺町の関係集落から芦名沢牧場への移動時間が短縮される。</p>	<p>田子町西部から東北自動車道へ向かう場合、現在、大型車は大きく迂回しているが、本区間の完成により距離が短縮され、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>スチールファイバーを混入したモルタルやアスファルト再生合材の使用、U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや32トンブルドーズの積算への反映により、コスト縮減や工期短縮等を図っている。</p>	<p>稀少動植物については、現時点では確認されていない。</p> <p>緑化工を主体としたのり面保護工による早期緑化に努めているほか、壁面緑化が可能な補強土壁工を採用している。</p>	<p>林業振興、畜産振興、森林空間の活用、青森・岩手両県の交流の活性化の効果が期待されることから、青森県、岩手県、関係町及び受益者は、早期完成を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
浄法寺・田子	特になし

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>横沢・荒川 （岩手県） （遠野市、川井村）</p> <p>{ 区間 }</p> <p>昭和 51 年着工 全長 41.4km 開設 62 % 改良 38 % 完成 35.2km 進捗率 85 %</p> <p>{ 路線全体 }</p> <p>区間数 4 うち完成 3 全長 71.8km 完成 65.6km 進捗率 91 %</p>	<p>関係市村は、豊富な森林資源を有し、事業量（伐採、造林）が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は 41 % である。</p> <p>地元の森林組合は 2 あり、それぞれ 5 市町村、2 市村にまたがる広域組合で労働力等を広域で活用する。</p>	<p>張山地区や荒川高原等における森林総合利用のための活用が期待されるほか、地域防災への貢献も期待される。</p>	<p>川井村と遠野市を南北に結び、国道 340 号と大迫町を東西に連絡する県道紫波川井線と接続しており、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>スチールファイバーを混入したモルタル、コンクリート二次製品よう壁及びアスファルト再生合材の使用、U 字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや 32 トンブルドーザの積算への反映等により、コスト縮減や工期短縮等を図っている。</p>	<p>クマゲラ、クマタカの生息情報がもたらされたことから、クマゲラのねぐら木等の調査、クマタカの行動圏や営巣状況の把握を行い、工事実施時期等について措置を講じている。</p> <p>公団は、自然環境の保全等に配慮したより適切な路線線形等を検討するため、平成 12 年に学識経験者から構成される路線検討会を設置し、平成 13 年 7 月に</p> <ul style="list-style-type: none"> 土石流危険渓流通過延長の短縮等 クマタカの営巣期高利用域通過の回避 トンネル化による稜線部の大型哺乳動物の移動路の分断の回避 <p>等を図る変更ルート案を決定している。</p>	<p>森林資源の有効活用、畜産振興、森林区間の多面的活用、災害時の迂回路としての効果が期待されることから、岩手県、関係市村及び受益者は、早期完成を要望している。</p> <p>地元住民が 300 人余の署名を添えて、岩手県及び公団あてに事業促進の陳情書を提出している。</p> <p>地元住民大会が平成 12、13 年度の 2 回にわたり開催され、それぞれ約 530、650 人の地元住民等が参加し、整備促進を決議している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
横沢・荒川	引き続き猛禽類のモニタリング調査等に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>西城・東城 （広島県） （西城町、東城町）</p> <p>{ 区間 } 平成3年着工 全長 19.3km 開設 97 %改良 3 % 完成 11.8km 進捗率 61 %</p> <p>{ 路線全体 } 区間数 2 うち完成 0 全長 48.5km 完成 11.8km 進捗率 24 %</p>	<p>関係町は、豊富な森林資源を有し、事業量(造林)が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は62%であり、また、事業量(更新、保育、間伐、主伐)は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は2あるが、将来は6市町にまたがる広域組合化することが検討されており、合併後は労働力等を広域で活用する。</p>	<p>林業、林産業の活性化により地元での雇用機会が増大するとともに、集落間のネットワーク構造を強化する。</p> <p>本区間をはさみ南北に国定公園が位置しており、これらを一体化する。</p>	<p>大規模林道栗倉・木屋原線、比和・新庄線との連携により、加工工場が多く立地している三次市や、大消費地である広島市への通行ルートが形成されるなど、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>アスファルト再生合材や再生採石の使用、U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや32トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期短縮等を図っている。</p> <p>本区間の発生残土を他の公共工事に利用し、コスト縮減と建設副産物の有効利用を図っている。</p>	<p>貴重動植物については、現時点で関係町、県が把握している情報においては確認されていない。</p>	<p>林業の活性化、集落間のネットワーク化の効果が期待されることから、広島県、関係町及び受益者は、早期完成を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
西城・東城	特になし

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>小岩道・鳥越 （愛媛県） （津島町、内海村）</p> <p>{ 区間 } 平成8年着工 全長 10.2km 開設 100%改良 0% 完成 5.7km 進捗率 56%</p> <p>{ 路線全体 } 区間数 5 うち完成 1 全長 75.9km 完成 26.1km 進捗率 34%</p>	<p>関係町村は、事業量（伐採）が山村の中でも大きい。</p> <p>受益地の人工林率は関係町村の平均を上回る78%であり、また、事業量（保育、間伐）は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は2あり、うち1は5町村にまたがる広域組合、あと1も平成13年度に合併し6市町村にまたがる広域組合化する予定で、労働力等を広域で活用する。</p>	<p>近隣に位置する篠山県立自然公園へのアクセス道として入込者の増加が期待される。</p> <p>周辺集落の移動手段は国道1本のみであることから、防災用道路としての効果の発揮が期待される。</p>	<p>本区間周辺の公道はほぼ南北に通じており、本区間は東西に横断する路線として、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや32トンブルドーザの積算への反映等により、コスト縮減や工期短縮を図っている。</p>	<p>足摺宇和海国立公園に一部接している。</p> <p>現在、県版レッドデータブックを作成中であり、関係町村内における稀少動植物の存在が確認されているが、これらは環境アセスメント調査の結果では、計画路線近傍では確認されていない。</p> <p>早期の舗装、沈砂池の設置、緑化工を主体とした早期ののり面工事等により、水質及び景観の保全を図っている。</p> <p>稀少猛禽類に関するモニタリング調査等を実施することとしている。</p> <p>エビネ・キエビネが生育している場合は、林道敷地外に移植することとしている。</p>	<p>林業振興、町村間の交流、災害時の迂回路の効果が期待されることから、愛媛県、関係町村及び受益者は、早期完成を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
小岩道・鳥越	猛禽類のモニタリング調査等に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>清水・三原 （高知県） （土佐清水市、三原村）</p> <p>{ 区間 }</p> <p>昭和 56 年着工 全長 15.6km 開設 0 %改良 100 % 完成 11.8km 進捗率 76 %</p> <p>{ 路線全体 }</p> <p>区間数 5 うち完成 0 全長 67.0km 完成 25.9km 進捗率 39 %</p>	<p>関係市村は、豊富な森林資源を有し、事業量(造林)が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は 76 %であり、また、事業量(更新、保育)は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は 2 あるが、将来は合併により 8 市町にまたがる広域組合化することが検討されており、合併後は労働力等を広域で活用する。</p>	<p>土佐清水市の下益野地区などから宿毛市、中村市の市街地へのアクセスが容易となり、通勤等に要する時間が短縮される。</p>	<p>土佐清水市と原木市場のある宿毛市平田地区を最短距離で結び、木材輸送をはじめ地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>現地製作による鉄筋ボックスカルバートから工場製品への振替、U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや 32 トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期の短縮を図っている。</p>	<p>本区間の西に位置する今の山周辺は、貴重種であるムカシトンボの生息地とされていることから、生息環境への影響を少なくするため 林地のつぶれ地を抑える路線設定 事業進捗に合わせた舗装・のり面工事の実施、沈砂池の設置等により降雨時における濁水流出の防止等を図っている。</p> <p>のり面工事は緑化工主体とし、景観との調和を図っている。</p>	<p>林業振興への効果、通勤通院等のためのアクセス道としての利用が期待されることから、高知県、関係市村及び受益者は、早期完成を要望している。</p> <p>土佐清水市内の商工会議所、観光協会等からなる経済団体連絡協議会が、高知県に対し整備促進を要望している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
清水・三原	特になし

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>池川・吾北 （高知県） （池川町、吾北村）</p> <p>{ 区間 } 平成3年着工 全長 43.3km 開設 76 % 改良 24 % 完成 5.3km 進捗率 12 %</p> <p>{ 路線全体 } 区間数 1 うち完成 0 全長 43.3km 完成 5.3km 進捗率 12 %</p>	<p>関係町村は、豊富な森林資源を有し、事業量(造林)が山村の平均より大きい。</p> <p>受益地の人工林率は関係町村の平均と同程度の71%であり、また、事業量(更新、間伐)は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は2あり、それぞれ4町村、5町村にまたがる広域組合で、労働力等を広域で活用する。</p>	<p>本区間周辺にある自然公園等における森林の総合利用が推進されると予想される。</p> <p>池川町においては、国道等が大雨時に通行制限されているが、本区間はその場合のう回路となる。</p> <p>吾北村においては、村北部の集落間の連絡道路となり、生活道としての機能を発揮すると期待される。</p>	<p>高知、愛媛両県における木材生産、流通、加工の中心地である高知県嶺北地域と愛媛県久万地域を連絡し、地域の交通ネットワークの形成に寄与するものと期待される。</p>	<p>現地製作による鉄筋ボックスカルバートから工場製品への振替、U字側溝の適用基準の見直し、タイヤローラーや32トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期の短縮を図っている。</p>	<p>国定公園（第3種特別地域）及び県立自然公園内を一部通過している。</p> <p>ハチクマ、ハイタカの飛翔が確認されており、当該箇所周辺における工事着手に先立ち、モニタリング調査等を実施することとしている。</p> <p>林地のつぶれ地を最小限にするよう路線を設定するとともに、崩壊防止のための構造物の設置、在来種を主とした緑化工、小動物に配慮した側溝や集水ますの導入を行っている。</p>	<p>林業を核とした地域開発、集落間の連絡、災害時の迂回路の効果が期待されることから高知県、関係町村及び受益者は、早期完成を要望している。</p> <p>関係町村等は、早期完成を図る観点から、区間のうち一部を幅員を5mに縮小することを提案している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
池川・吾北	猛禽類のモニタリング調査等に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの） 2の1

区間名、延長、進捗率等	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	コスト縮減への取組	自然環境を巡る状況と保全のための取組	関係者の意見・意向等
<p>泉・五木 （熊本県） （泉村、五木村、水上村）</p> <p>{ 区間 } 昭和 61 年着工 全長 19.8km 開設 100 %改良 0 % 完成 14.6km 進捗率 74 %</p> <p>{ 路線全体 } 区間数 6 うち完成 2 全長 110.1km 完成 70.1km 進捗率 64 %</p>	<p>関係村は、豊富な森林資源を有し、事業量（造林、伐採）は山村の平均に近い。</p> <p>受益地の人工林率は 49 % であり、また、事業量（更新、保育、間伐、主伐）は今後増加する計画である。</p> <p>地元の森林組合は 2 あり、うち 1 は 4 町村にまたがる広域組合、あと 1 も平成 16 年度に合併し 12 市町村にまたがる広域組合化する予定で、労働力等を広域で活用する。</p>	<p>眺望は絶景であり、本区間を通行し周辺の森林の総合利用施設を利用する入込者の増加が見込まれる。</p> <p>終点側の施設については、熊本市、八代市からのアクセスが改善され、利用客の増加が期待される。</p> <p>泉村久連子地区と五木村下梶原地区が直結され、交流が一層盛んになると期待される。</p>	<p>泉村と五木村を南北に結ぶ本区間の終点は、五木村と水上村を東西に結ぶ村道と連絡しており、地域の交通ネットワークの形成に寄与すると期待される。</p>	<p>現地製作による鉄筋ボックスカルバートから工場製品への振替、アスファルト再生合材や再生採石の利用、タイヤローラーや 32 トンブルドーザの積算への反映により、コスト縮減や工期の短縮等を図っている。</p>	<p>国定公園（第 3 種特別地域）県立自然公園（第 3 種特別地域）内を通過している。</p> <p>クマタカの飛翔が確認されたことから、モニタリング調査を実施している。</p> <p>土砂の流出防止に努め、丸太柵工を施工し林地保全を図るとともに、小動物に配慮した側溝や景観保全に配慮した木製ブロック積工を採用している。</p> <p>公団は、自然環境の保全等のためトンネルの採用による延長の短縮を検討している。</p>	<p>林業振興、森林レクリエーション施設へのアクセス、山村集落の交通の確保の効果が期待されることから、熊本県、関係村及び受益者は、早期完成を要望している。</p> <p>昭和 63 年度から大規模林道事業に関係する熊本、大分、宮崎県内の 5 市町村が山村の活性化等をめざしサミットを開催しており、平成 13 年は約 150 人が参加し、事業推進をうたった共同宣言を採択している。</p>

項目別取りまとめ表 2の2

区間名	留意事項
泉・五木	引き続き猛禽類のモニタリング調査に基づき、環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。